

swSafe マニュアル

目次:

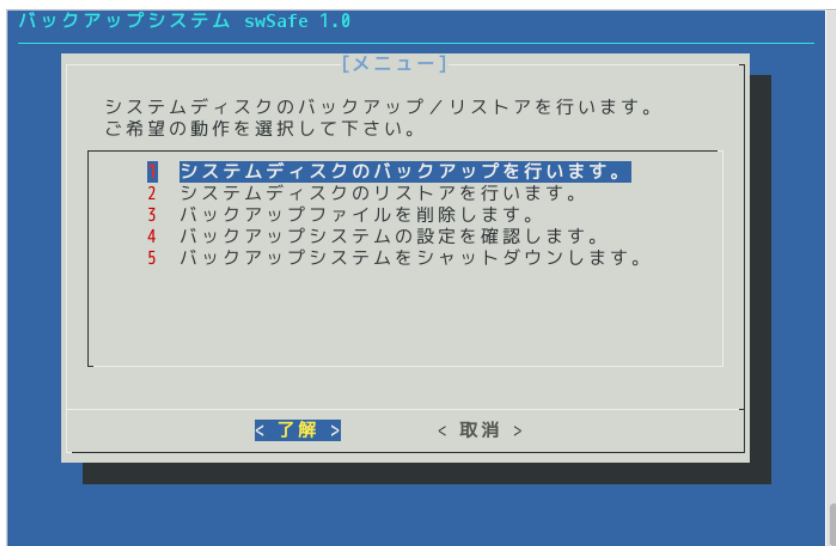
- swSafeのご紹介
 - はじめに
- swSafeの使い方
 - サーバでswSafeを起動する
 - システムディスクのバックアップを行う
 - システムディスクのリストアを行う
 - バックアップファイルを削除する
 - バックアップシステムの設定を確認する
 - バックアップシステムをシャットダウンする
- こんな時は
 - バックアップ／リストア対象ディスクが見つからない場合
 - バックアップファイル保存先の空き容量が残り少なくなった場合
 - swSafeをアップデートする場合

swSafeのご紹介

はじめに

swSafeは、システムディスクのバックアップを取るための専用ソフトウェアが含まれたUSBデバイスです。このUSBデバイスにてサーバを起動することで、バックアップとリストアが出来ます。このUSBデバイスは、以下の特徴を持っています。

- USB3.0接続のデバイスの為、サーバへの取り付けや取り外しを簡単に出来ます。
- キーボードによる操作でバックアップとリストアを実行することが出来ます。
- 従来のBIOSブートを利用しているサーバや、UEFIブートを利用しているサーバにも対応しています。
- swSafeを起動すると、自動的にシステムに接続されているディスクを検出し、それらディスクをバックアップ対象ディスクやリストア対象ディスクとして設定します。
- swSafeでバックアップを行う際には、システムディスク全体を圧縮して1つのファイル(izo形式)で保存します。リストアを行う際にはバックアップイメージを解凍しながらディスクに書き込みます。
- バックアップイメージの保存先の容量に依りますが、バックアップイメージを複数取ることが出来ます。また、バックアップイメージ一覧から1つを選んで、リストアすることが出来ます。



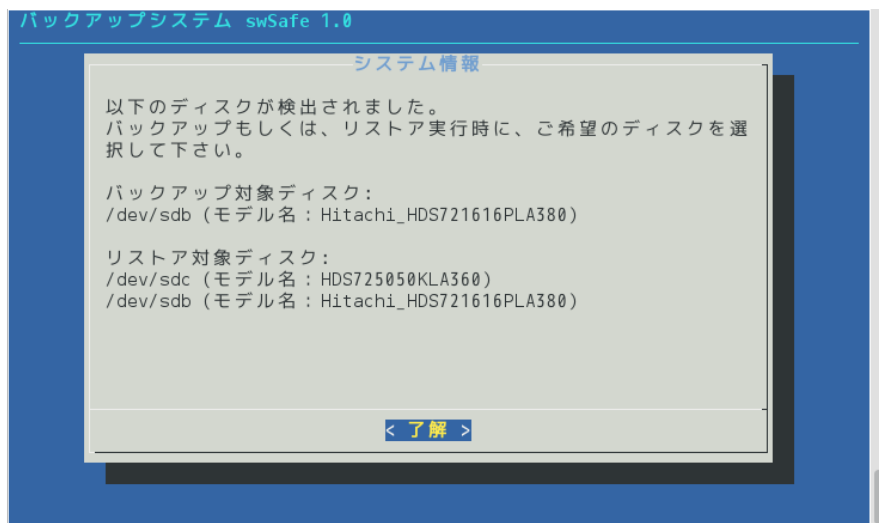
swSafeの使い方

サーバでswSafeを起動する

1. swSafeをサーバのUSBポート(USB3.0ポートへの接続を推奨します。)へ接続します。
2. サーバのパワースイッチを押して、サーバを起動させ、swSafeの起動完了を待ちます。

注釈: サーバBIOSの起動ディスクの順番によっては、swSafeが立ち上がりず、システムディスクからOSが起動します。その場合には、サーバBIOSの起動ディスクの順番を変更を試みて下さい。

3. swSafeの起動完了すると、検出されたディスクの一覧が表示されます。ディスクの一覧を確認後、「了解」をキーボードのエンターキーで押し、メインメニューを表示させて下さい。

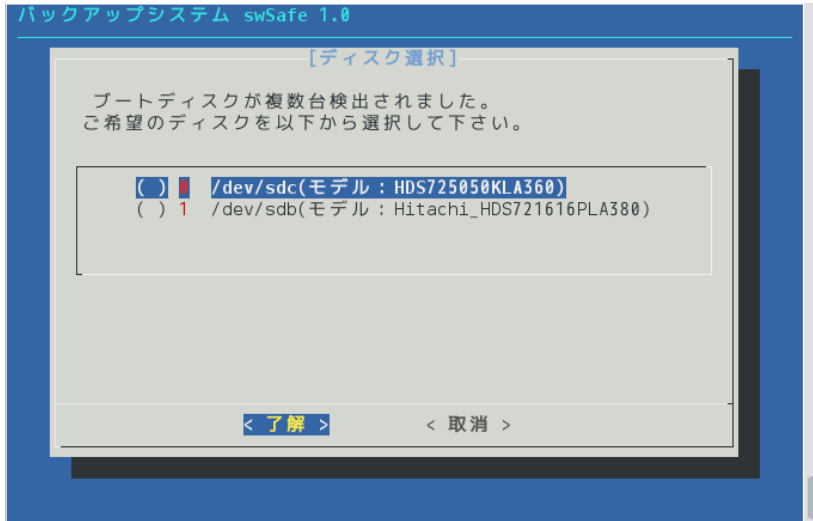


注釈: swSafeではブートフラグが設定されているディスクの一覧を「バックアップ対象ディスク」へ表示します。また、「リストア対象ディスク」一覧には、ブートフラグが設定されていないディスクと共にブートフラグが設定されているディスクも表示します。

システムディスクのバックアップを行う

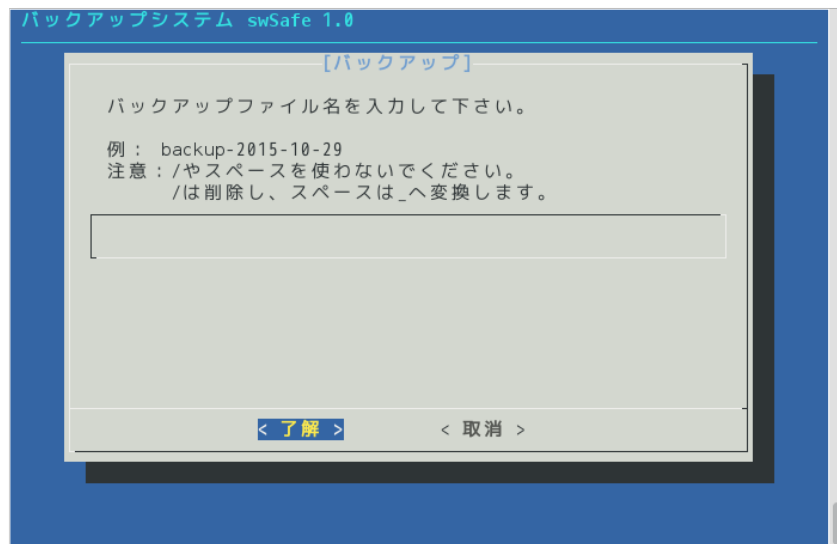
1. メインメニューの「1. システムディスクのバックアップを行います。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
2. サーバに複数のブートディスクが接続されている時には、バックアップを行いたい「ディスク選択」画面が表示されます。バックアップを行いたいディスクを一覧から、キーボードのスペースキーで希望するディスクを選択後、エンターキーを押して決定します。ディスク名左側の()内に*マークが付きます。ブートディスクが1つのみの場合にはディスク一覧が表示され

ません。次の3)以降の手順を進めて下さい。

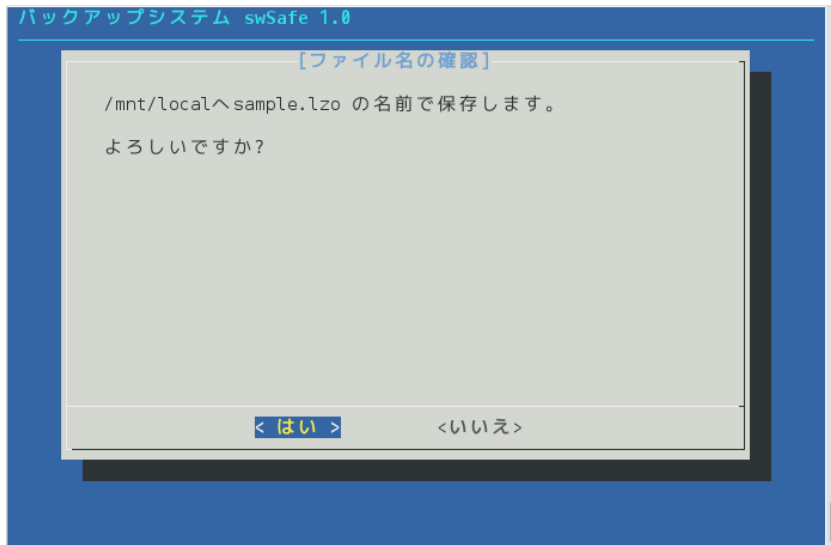


3. バックアップファイル名を入力後、「了解」を選択して、エンターキーを押して下さい。

- / やスペースを利用しないで下さい。/は削除し、スペースは_へ変換します。
- 拡張子.lzoが付与されていない場合は、自動的にファイル名の後に追加されません。



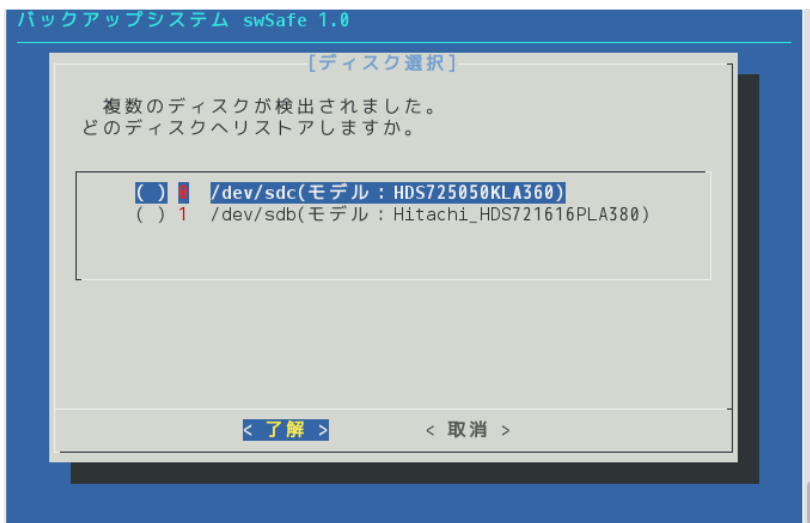
4. 確認ダイアログが表示されるので、もし、入力したファイル名でよろしければ、矢印キーで「はい」を選択して、エンターキーを押して下さい。中止する場合には、矢印キーで「いいえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。



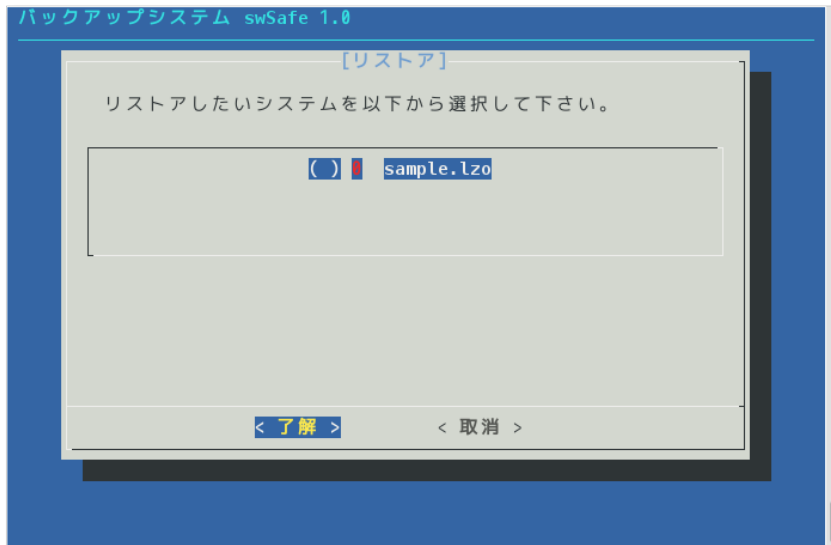
5. バックアップが開始されます。完了するまでお待ちください。なお、バックアップ時間はシステムディスクの容量とUSBポートの速度に依存します。

システムディスクのリストアを行う

1. メインメニューの「2. システムディスクのリストアを行います。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
2. サーバに複数のリストア先となるディスクが接続されている時には、「ディスク選択」画面が表示されます。ディスクを一覧から、キーボードのスペースキーでご希望のディスクを選択後、エンターキーを押して決定します。選択したディスク名の左側()内には*マークが付きます。候補となるディスクが1つのみの場合には、ディスク一覧が表示されません。次の3)以降の手順を進めて下さい。



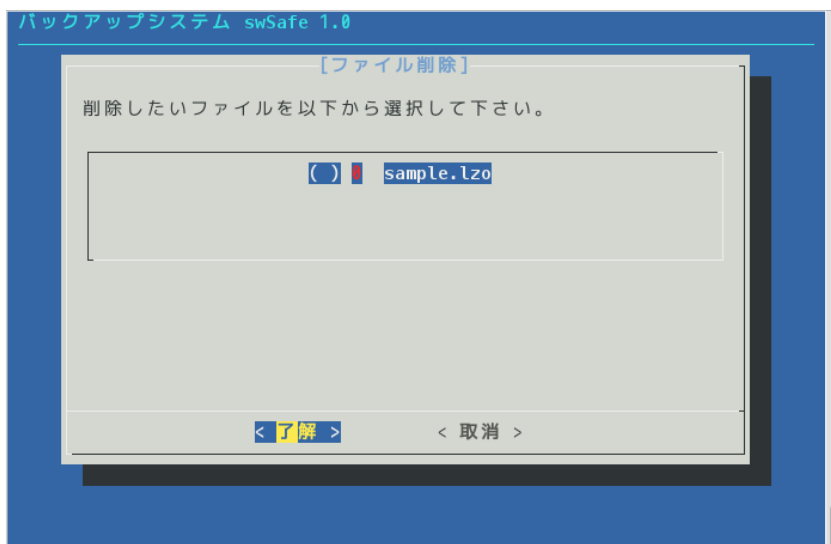
3. バックアップイメージ一覧 [1] が表示されるので、対象のイメージ名をキーボードの矢印キーで選択して、スペースキーを押して下さい。選択したイメージ名の左側()内に*マークが付きます。*マークが付いたイメージ名のファイルがリストアされます。



4. リストアを実行するには、キーボードの矢印キーで「了解」を選択して、エンターキーを押します。確認ダイアログが表示されるので、選択したバックアップイメージでよろしければ、「はい」を選択して、エンターキーを押して下さい。もし、中止する場合には、矢印キーで「いいえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。

バックアップファイルを削除する

1. メインメニューの「3. バックアップファイルを削除します。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
2. バックアップイメージ一覧 [1] が表示されるので、対象のイメージ名をキーボードの矢印キーで選択して、スペースキーを押して下さい。選択したイメージ名の左側()内に*マークが付きます。*マークが付いたイメージ名のファイルが削除の候補です。

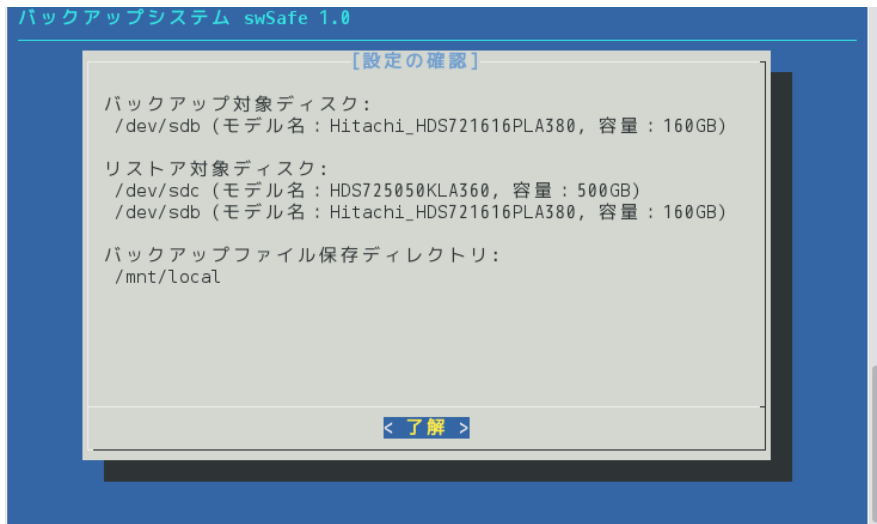


3. バックアップイメージを削除するには、キーボードの矢印キーで「了解」を選択して、エンターキーを押します。確認ダイアログが表示されるので、選択したバックアップイメージでよろしければ、「はい」を選択して、エンターキーを押して下さい。中止する場合には、矢印キーで「い

いえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。

バックアップシステムの設定を確認する

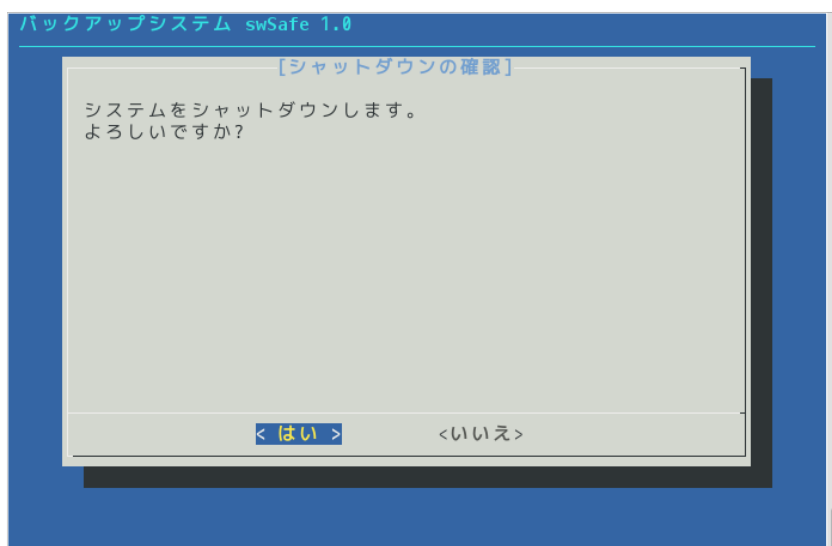
1. メインメニューの「4. バックアップシステムの設定を確認します。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。
2. 現在の「バックアップ対象ディスク」、「リストア対象ディスク」と、「バックアップファイル保存ディレクトリ」が表示 [2] されます。



3. キーボードの矢印キーで「了解」もしくは、「取消」を選択し、キーボードのエンターキーを押すことで、メインメニューに戻ることが出来ます。

バックアップシステムをシャットダウンする

1. メインメニューの「5. バックアップシステムをシャットダウンします。」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押します。

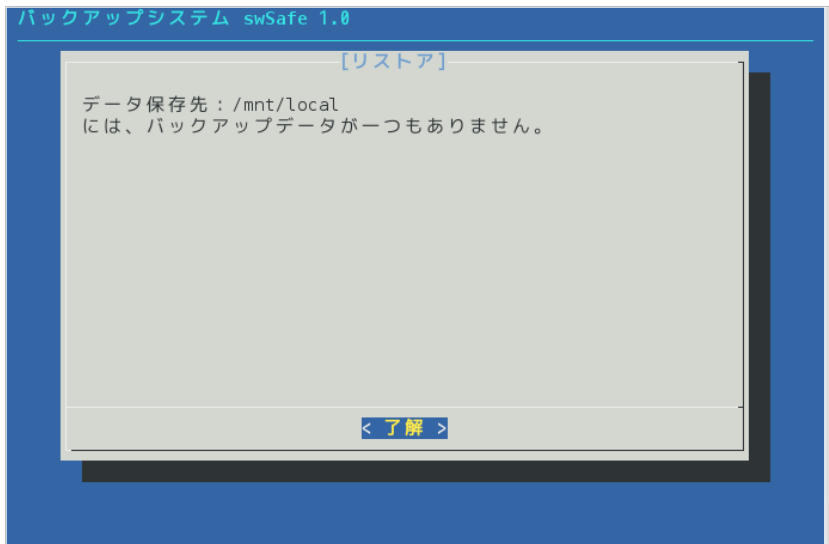


2. キーボードの矢印キーで「はい」をキーボードの矢印キーで選択し、エンターキーを押すとシステムがシャットダウンします。もし、中止する場合には、矢印キーで「いいえ」を選択して、エンターキーを押して下さい。

脚注

[1] (1, 2)

バックアップファイルが一つも無ければ、以下のメッセージが表示されます。

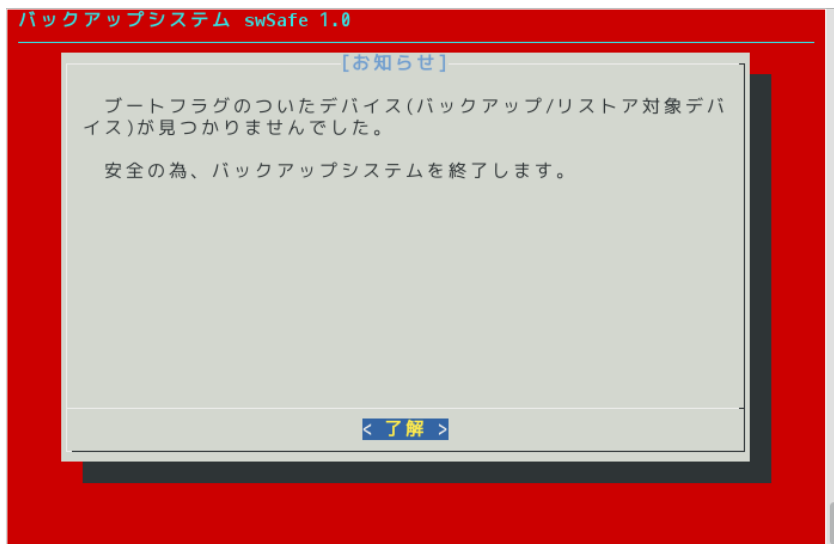


- [2] 今のところ、設定変更は出来ません。

こんな時は

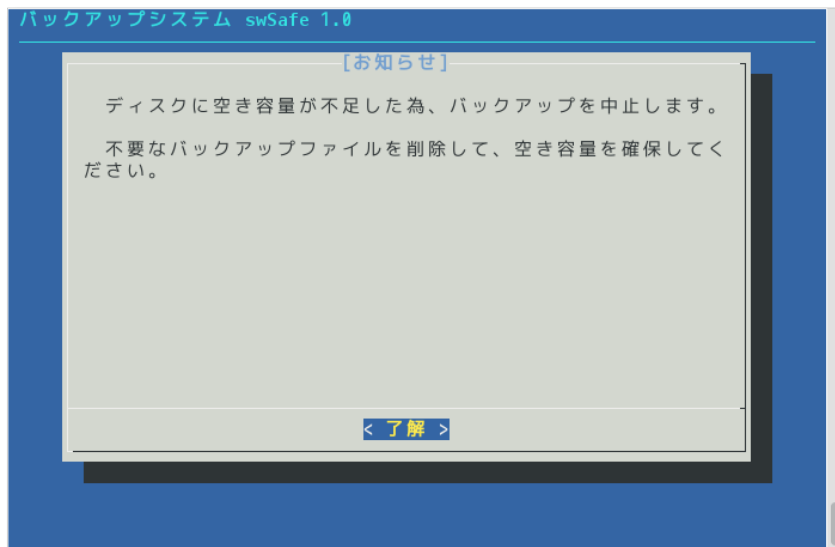
バックアップ／リストア対象ディスクが見つからない場合

- システムディスク(バックアップ/リストア対象ディスク)が検出されない場合、以下のダイアログを表示します。安全の為、システムをシャットダウンします。



バックアップファイル保存先の空き容量が残り少なくなった場合

- バックアップ中、バックアップファイル保存先の空き容量が少くなると、以下のダイアログを表示 [1] します。「了解」をキーボードのエンターキーで押し、バックアップを中止して下さい。
- メインメニューの「3 バックアップファイルを削除します。」により、不要なバックアップファイルを削除して、空き容量を確保して下さい。あるいは、バックアップファイルを別メディアに移動させ、空き容量を確保して下さい。



swSafeをアップデートする場合

linux がインストールされた**PC**上で行う必要があります。

1. swSafeをPCのUSBポートに接続します。多くのLinuxディストリビューションでは、USBストレージをUSBポートに差すだけで認識されます。デスクトップにアイコンが表示されます。

注釈: 自動でマウントされない場合には、手動でUSBストレージをマウントする必要があります。(実行例: `sudo mount /dev/sdc2 /mnt`)

2. デスクトップの「/home」と表記されたアイコンをダブルクリックして開き、「swSafe」と表示のあるフォルダを開きます。
3. 2で開いたフォルダへ、入手したファイルをコピー/上書きすれば終了です。

脚注

- [1] この時、バックアップ途中のファイルは、削除されます。